



地域にお世話になっています

本格的な梅雨の季節を迎えました。雨に濡れるアジサイの花が、いっそう美しく見えます。1学期も後半に入り、子どもたちが地域へおじゃまる機会が増えました。1年生はさざなみ園の皆さんとサツマイモの植え付けの交流をさせていただきました。2年生は『町たんけん』で、近隣のお店や旅館、銀行や支所などを訪問させていただきました。3年生は、『大三島のじまん』探しのため、道の駅や製塩工場を見学させていただきました。6年生はボランティアガイドの方と大山祇神社を巡りました。快く受け入れていただくだけでなく、児童への説明や質問への対応に時間を割いていただき、ありがとうございました。帰校後、満面の笑顔で今日あったことを話してくれる児童の姿に、地域の方に支えられて子どもたちが成長していることを感じています。今年度から今治市で始まった子どもたちが地域をテーマにした教育活動を通して、自分が暮らす地域の良さに気付き、将来地域を大切に感じてもらえることを願っています。



1年生の交流活動



2年生の町たんけん



3年生の製塩工場見学

家庭学習は何のため？

今回は家庭学習についてお話しします。家庭学習の目的は、次の三つがあります。

- ①習慣化：毎日、勉強する（机に向かう）習慣を付けるためです。
- ②定着：学校で習った勉強を、より確実に身に付けるためです。
- ③自立：自分から進んで、必要な勉強ができる子になるためです。

学校での学習だけでなく、家庭学習も小学校を卒業すれば終わりではありません。中学校、高校へとつながり、学年が進むほど、自主的・自立的な取組が必要になります。自分の得手不得手や自分が目指すものに依りて、自分で学習をマネジメントしていかなければなりません。社会に出ても仕事に必要な免許や資格の取得など、自分で学ぶという場面はたくさんあります。その時、先程の①から③の力がものを言います。

学校でも働き掛けていきますが、まだまだおうちの方のサポートが必要です。低学年では①と②、学年が進むにつれ③も大切です。決めた時間帯に机に向かわせる、テレビを消してお子さんが落ち着いて勉強できる環境づくりをする、お子さんのやる気を引き出す励ましや褒め言葉を掛ける、などのご協力をお願いします。



5年生参観日の防災学習

